

第2章

日田市を取り巻くIT環境

1. 国の情報化施策

(1) e-Japan 戦略からIT新改革戦略へ

政府は「世界最先端のIT国家になる」ことを目標に、以下のような様々な戦略をたてています。

- ・ e-Japan 戦略 (平成13年1月22日政府)

すべての国民がITを積極的に活用し、その恩恵を最大限に享受できる知識創発型社会の実現に向け、早急に革命的かつ現実的な対応を行わなければならない。市場原理に基づき民間が最大限に活力を発揮できる環境を整備し、5年以内に世界最先端のIT国家となることをめざす。

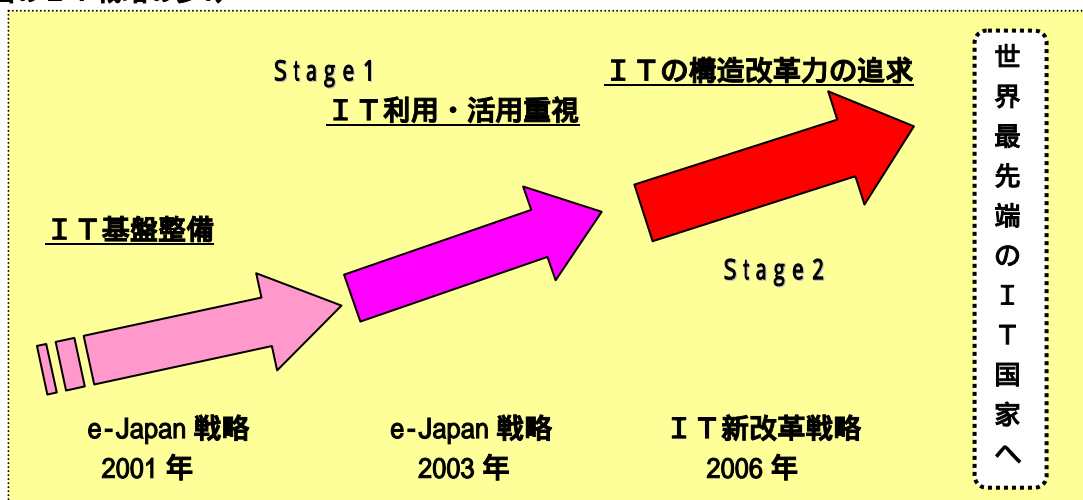
- ・ e-Japan 戦略 (平成15年7月2日政府)

IT活用により「元気・安心・感動・便利」社会をめざす。ITを駆使した無駄の排除と経営資源の有効活用による構造改革、IT環境下で新しい産業・サービスを創出する新価値創造、個の視点に基づいた改革、IT分野の国際展開など e-Japan 戦略で達成しつつあるIT基盤を活かして社会経済システムを積極的に変革する。

- ・ IT新改革戦略 (平成18年1月19日政府)

既存の社会の構造に変化を迫るITの構造改革力を利用者視点に立って有効に使い、国民生活及び産業競争力の向上に努めるとともに、日本社会の抱える大きな社会的課題の改革に取り組み、「いつでも、どこでも、誰でも、ITの恩恵を実感できる社会の実現」をめざす。

<国のIT戦略の歩み>



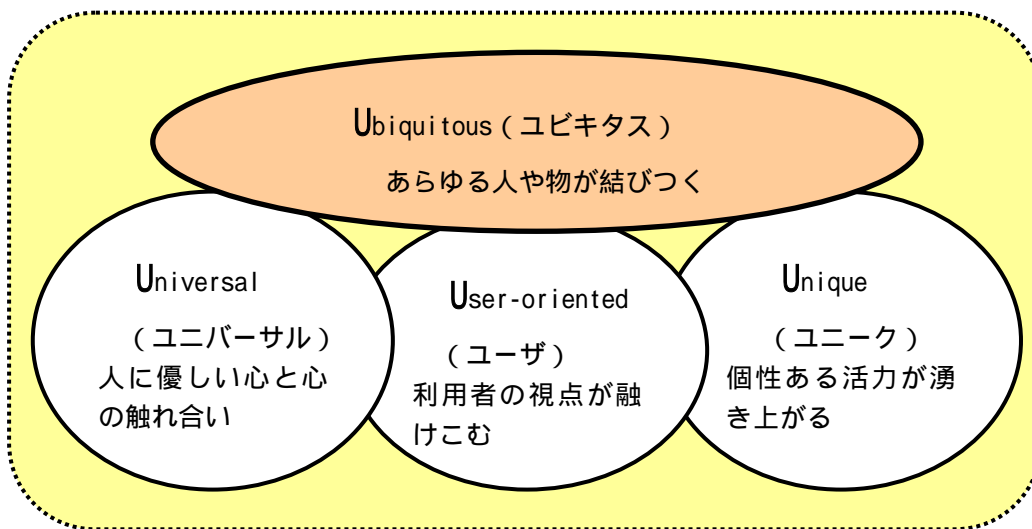
(2) u-Japan 政策

総務省は、政府の戦略を受け、次のような政策目標を作成し、ユビキタス*ネット社会の実現に向け、取り組んでいます。

(平成 16 年 12 月 17 日総務省)

2010 年には草の根のように生活の隅々まで情報通信技術(I T)が融けこみ、創意ある利活用でまったく新しい価値が社会生活に生み出される価値創発型社会を実現し、世界最先端の情報通信技術国家として先導することをめざす。そのため、2010 年までに国民の 100% が高速または超高速のネットワークを利用可能な社会にすることを提言する。

< u-Japan の理念 (1 つの「U」と3つの「U」) >



2. 大分県の動向

大分県は、平成 18 年 2 月に大分県地域情報化計画を策定しました。

地域間の情報格差を解消するため、ブロードバンド*サービスの普及の促進や豊の国ハイパーネットワーク*の民間利用を含めた利活用などの情報通信基盤の整備や、利用者の視点に立った電子自治体*の構築など、すべての県民がITの恩恵を享受するための県民生活の情報化の推進に取り組み、大分県長期総合計画の基本目標である『県民とともに築く「安心」「活力」「発展」の大分県』の実現をめざすこととしています。

大分県地域情報化計画 (基本計画)

- (1) 高度情報通信ネットワーク社会を支える情報通信基盤の整備
- (2) 高度情報通信ネットワーク社会における県民生活の情報化推進
- (3) 情報化が推進する安全・安心な環境づくり
- (4) 情報化が推進するみんなで支えあう社会づくり
- (5) 情報化が推進する力強い産業づくり
- (6) 情報化が推進する活気あふれる地域づくり
- (7) 高度情報通信ネットワーク社会を担う人づくり

豊の国ハイパーネットワーク

